

Europe Indicators

発表日: 2020年11月12日(金)

欧州経済指標コメント: 7-9月期英国GDP速報

~V字回復からW字回復へ~

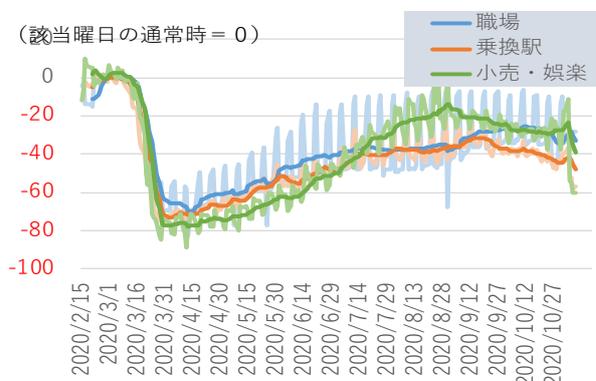
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

- 7-9月期の英国の実質GDP成長率の速報値は前期比+15.5%、同年率+78.0%と、1955年の現行統計開始以来で最大の伸び率を記録した。だが、春の第一波が直撃した1-3月期と4-6月期の落ち込み（累積で▲21.8%）を取り戻すことはできず、前年比では▲9.6%と危機前の水準に遠く及ばない。同時に発表された月次の実質GDPは、5月の都市封鎖解除後に5ヵ月連続で増加したものの、9月は前月比+1.0%と成長ペースが鈍化（7月は同+6.4%、8月は同+2.1%）。
- 需要項目別にみた7-9月期の動向は、個人消費（前期比+17.9%）、政府消費（同+7.8%）、企業投資（同+8.8%）、住宅投資（同+46.0%）、輸出（同+5.1%）、輸入（同+13.2%）が軒並み大幅に反発した一方で、財政出動の影響で前期に大きく増加した政府投資（同▲1.9%）が反落。輸入の伸びが輸出を上回ったため、外需も成長率を押し下げた（同寄与度▲2.1%）。
- 感染再拡大を受けたイングランド全土での都市封鎖の再開を受け、10-12月期の成長率はマイナス成長に再転落することが確実な情勢。スマホの位置情報データは、春の第一波に比べて落ち込みが軽微ながら、11月に入って「小売・娯楽」、「乗換駅」、「職場」の人出が急減している。

英国の実質GDPの推移



Googleの位置情報に基づく英国の混雑状況



出所: 英統計局資料より第一生命経済研究所が作成

注: 濃い線が7日間移動平均、薄い線が元データ
出所: Google資料より第一生命経済研究所が作成

■英国GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
18/10-12月期	1.8	0.7	(5.7)	2.3	5.9	▲0.9	(▲1.6)	(▲5.1)	▲0.4	16.8
19/1-3月期	5.1	2.2	(10.4)	▲0.5	5.6	8.3	(▲2.9)	(▲8.2)	1.0	29.4
19/4-6月期	2.1	▲0.1	(▲11.8)	1.6	8.2	▲4.0	(▲17.6)	(11.7)	▲7.0	▲33.2
19/7-9月期	3.6	1.3	(▲3.3)	0.4	▲2.2	5.8	(▲7.2)	(4.6)	22.9	6.2
19/10-12月期	1.6	0.6	(▲1.1)	▲1.3	2.9	▲6.7	(4.0)	(1.7)	6.9	1.6
20/1-3月期	▲1.8	▲9.7	(▲7.8)	▲11.6	▲14.7	▲4.0	(22.5)	(▲1.9)	▲36.3	▲32.1
20/4-6月期	▲46.4	▲58.7	(▲73.6)	▲66.1	▲46.8	▲62.1	(101.4)	(15.0)	▲37.2	▲64.4
20/7-9月期	61.0	78.0	(86.3)	93.0	34.9	75.6	(▲117.2)	(▲8.3)	22.2	64.5

出所: 英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

